

平旧城跡周辺 防災まちづくり活動ニュース

平成27年10月発行 いわき市 危機管理課

第2回防災まちづくりワークショップを実施しました

訓練会場の全体の様子

平成27年10月8日(木)午後7時から城山公民館にて、平15区・24区・25区・52区の方々を中心とするメンバーで「第2回平旧城跡周辺地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

※「防災まちづくりワークショップ」は、地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成27・28年度にわたり全10回行います。

今回は19名(地区住民18名※、消防本部1名)が参加し、去る8月30日(日)に福島県立磐城桜が丘高校で実施した「平成27年度いわき市総合防災訓練」をふりかえり、2テーブルに分かれて、訓練で学んだことや感じたこと、地区での取り組みが必要なことを話し合いました。

次に、ファシリテーターの説明を通じて過去の土砂災害の経験を学び、もし当地区で集中豪雨による土砂災害が発生した場合の被害規模をイメージしながら、現地を歩いて確認すべき箇所を確認しました。最後に、テーブルごとに話し合いの内容を発表・共有しました。(詳しい内容は裏面参照)

次回は、実際に地区を歩いて、危険箇所などを確認します。これからでも参加できますので、地区の防災に関心のある方は是非参加してみませんか。(お問い合わせ先は下欄をご覧ください。)



○参加された方々(当日参加者受付名簿順): 鈴木政康さん、千葉壽茂さん・敏子さん、小出京子さん、松崎博さん、真木秀明さん、大和田裕子さん、加藤博久さん、木幡隆正さん、櫻田憲央さん、黒木禮子さん、菅本重孝さん、鈴木好男さん、木澤光一さん、飯島正敏さん、佐藤隆子さん、相澤秀雄さん、中林則際さん ※参加者の総意により掲載

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課: 植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))

★ 第2回ワークショップで話し合った内容 ★

■総合防災訓練のふりかえり

学んだこと・感じたこと

- ・訓練当日に参加した人数が実際の災害で避難した場合、生活できるスペースがあるのか。
- ・桜が丘高校までの避難距離が長かった。
- ・大雨の際に外へ出て避難するリスクを考えるべき。等

地区として必要な取り組み

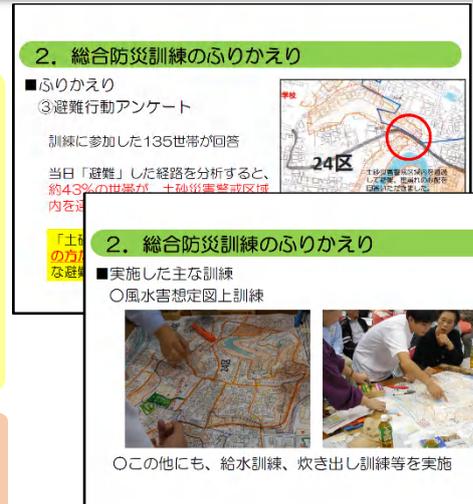
- ・避難時に支援を必要とする人、連絡先の把握。
- ・各戸での防災グッズの備えの啓発。
- ・行政の取り組みとの連携。等

■地域で想定される被害の確認

- 地区内の土砂災害警戒区域等の危険箇所の概ねの位置・範囲を確認し、これらの範囲に含まれる建物の数や居住者数を試算してみました。【総合防災訓練での実体験と合わせて、被害規模を認識し、災害を「自分事」として理解しました。】

■現地での確認が必要な箇所の検討

- 総合防災訓練で話し合っまとめた地区の課題整理も活用しながら、現地を確認し、課題共有すべき箇所を話し合いました。【過去の集中豪雨の際にも水があふれた箇所や急な崖、狭い路地の箇所を要確認として取り上げました。】



ワークショップ配付資料（抜粋）



話し合い・発表の様子

次回以降の防災まちづくりワークショップの予定

次回は「まち歩き」を開催します。これからでも参加できるプログラムとなっていますので、是非ご参加ください。【お申し込みはオモテ面下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第3回	11月19日(木) 午前10～12時	○まち歩きによる防災上の課題の現地確認
第4回	12月	○地区の防災上の課題の整理
第5回	2月	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討